

## ディスクデータの検査ユーティリティ

Oracle のディスクデータに異常がないかチェックするユーティリティがある

データファイル全体の物理ファイルに対するエラー・チェックは、**dev** ユーティリティを実行する

テーブルやインデックスのような個別オブジェクトに対しては、**Analyze** コマンドを実行する

~~なお、**dbv** ユーティリティは、UNIX 限定なので Windows 用ユーティリティは別途確認しておくこと~~

## 【データファイルの Oracle ブロック検査】

Oracle の物理ファイルであるデータファイルに対しては、データ・ブロックの内部構成に異常が発生していないかを以下のコマンドでチェックすることが出来る

調査する時は、Oracle をシャットダウンするか、表領域をオフラインにしておく必要がある

### ~~UNIX 限定~~

#### dbv オフライン・ユーティリティの使用

D:¥ dbv file=/home/oracle11/ora\_data/...../data\_file01.def

注意)

CMD モードを**管理者権限で実行**しないと  
データファイルにアクセスできない

↑  
検査対象データファイル

DBVERIFY - 検査を開始します file=/home/oracle11/...../data\_file01.def

DBVERIFY - 検査が完了しました

検査済ページの合計	: 18240
検査済ページの合計 (データ)	: 3026
<b>エラーのページの合計 (データ)</b>	: 0
処理済ページの合計 (索引)	: 599
<b>エラーのページの合計 (索引)</b>	: 0
処理済ページの合計 (その他)	: 259
処理済ページの合計 (セグメント)	: 0
<b>エラーのページの合計 (セグメント)</b>	: 0
空白のページの合計	: 14356
<b>破損とマークされたページの合計</b>	: 0
インフラックス・ページの合計	: 0
暗号化されたページの合計	: 0
最大ブロック SCN	: 1475390 (0.1475390)

※ dbv オフライン・データベース検査ユーティリティの詳細な使用方法は、「ユーティリティ」を参照のこと

## 【オブジェクトに対するエラー調査】

オブジェクト（表、索引など）のデータ・ブロックの内部構成に異常が発生していないかは、以下のコマンドでチェックすることが出来る

### analyze コマンドの使用

```
sql> analyze table <スキーマ>.<調査対象テーブル名> validate structure ;
```

```
sql> analyze table <スキーマ>.<調査対象テーブル名> validate structure  
      cascade ;
```

※ cascade オプションの指定により、表に紐付いている索引についても同時に検査を行う

※ analyze validate structure コマンドの詳細な使用方法は、「SQL リファレンス」を参照のこと